

平成31年産

# 大崎麦作情報 第4号

平成31年4月16日発行  
宮城県大崎農業改良普及センター  
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

～今後の管理のポイント～

- 収量・品質向上のために追肥を行いましょう。
- 赤かび病防除を徹底しましょう。
- 排水対策を徹底しましょう。

## 1 気象経過

- ・気温は3月下旬まで平年より高くなりましたが、その後平年より低くなりました。
- ・日照時間は平年並となりました。
- ・降水量は3月下旬～4月上旬にかけてまとまった降雨があり、3月下旬には9cm/日の降雪がありました。

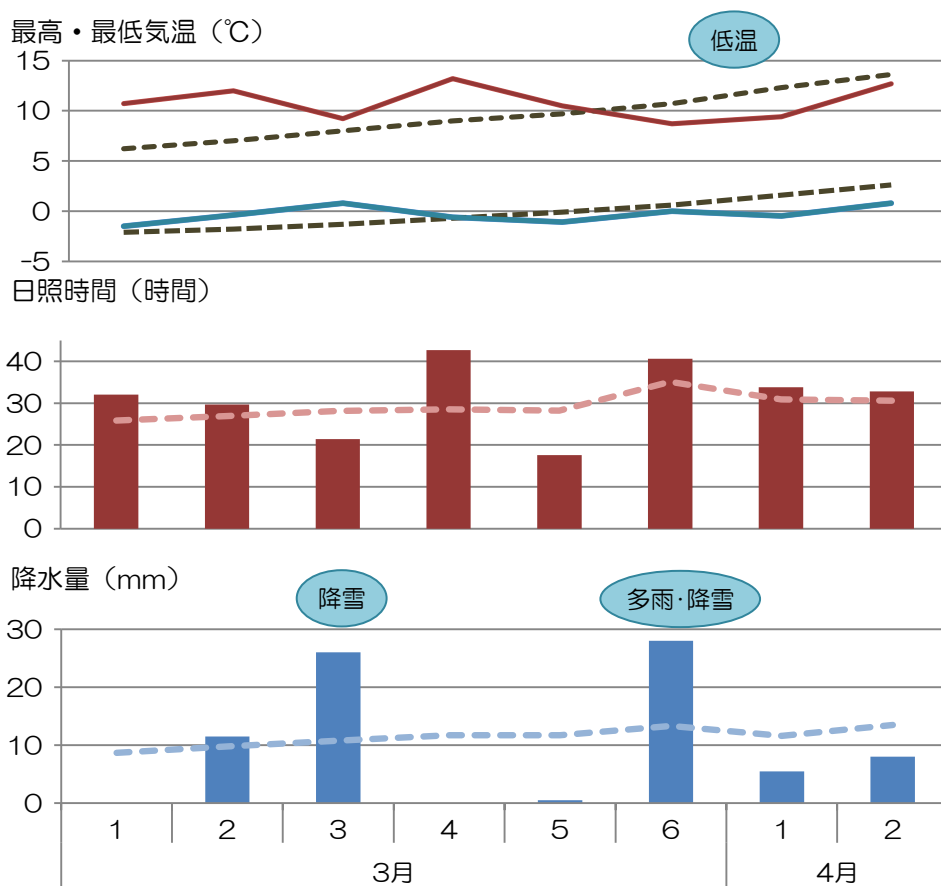


図1 気象経過 (アメダス古川)  
※実線又は棒グラフが本年値, 点線は平年値。

## 2 生育状況（4月10日現在）

- 生育調査結果（4月10日現在）では、草丈21cm、莖数797本/m<sup>2</sup>と平年を下回りました。
- 幼穂長は2.1mm（平年差-1.2mm）と、平年より生育ステージが遅れています。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			莖数 (本/m <sup>2</sup> )			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	10/19	-10	-4	21	130%	94%	797	97%	78%	2.1	+0.3	-1.2

※平年差（比）は、過去5か年（平成26年～平成30年産）の平均値との比較

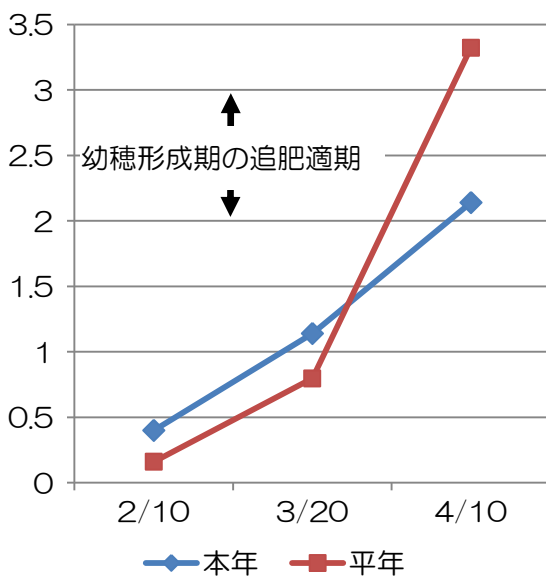


図2 生育調査ほ（品種：シラネコムギ）における幼穂長の推移



写真1 生育調査ほの様子（上：前回調査 下：本調査）

## 3 今後の生育ステージの見通し

- 今後の生育ステージは、減数分裂期・出穂期ともに平年より4日遅くなり、開花期は5月22日頃と予測されます（表2）。
- 仙台管区气象台による向こう1か月の天候では、気温が平年並～高いと予想されますが、追肥の適期を逃さないよう、今後の生育状況に注意しましょう。

表2 幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	播種日			減数分裂期			出穂期			開花期
	本年	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測	前年差	平年差	本年予測
古川 シラネコムギ	10/19	-10	-4	5/4	+1	+4	5/13	+1	+4	5/22

※1 平年差は、過去5か年（平成26年～平成30年産）の平均値との比較

※2 普及に移す技術第91号（麦類の生育ステージ予測シート）をもとに予測。

※3 栽培管理上の目安であり、実際の生育ステージは今後の気象条件によって変動あり。

## 4 今後の管理

### (1) 追肥

収量・品質向上のために追肥を行いましょ。

- ・減数分裂期の追肥は「一穂粒数の確保・登熟良化」につながります。品質を確保するためには、N施肥量4～5kg/10a施用しましょ。
- ・穂揃期の追肥は「子実タンパク質含有率の向上」につながります。

表3 追肥時期と施肥量の目安(シラネコムギ)

追肥の種類	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
追肥時期	3月下旬～4月中旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
N施肥量(kg/10a)	2～2.5	4～5	2～2.5
硫安の場合(kg/10a)	10～12	20～25	10～12
尿素の場合(kg/10a)	4.5～5.5	9～11	4.5～5.5

#### ～ 減数分裂期の判断方法(シラネコムギ) ～

小麦の減数分裂期の目安は、幼穂長30～50mmであり、止葉葉耳間長から幼穂長を推定し、減数分裂期の追肥時期の目安とすることができます。小麦(シラネコムギ)では、「止葉葉耳間長±0mm以上の茎が4～5割」が目安となります。

幼穂長	30mm	40mm	50mm
葉耳間長	-30mm	+3mm	+30mm

図3 葉耳間長の形態的推移

### (2) 赤かび病防除

- ・赤かび病とは？

赤かび病は、穂の一部あるいは全部が褐色となる病害です。発生源は、主に汚染種子内の菌糸や被害わら、こぼれた麦上に形成された病原菌(子のう殻)です。赤かび病は開花期が最も感染しやすく、開花期に降雨が多いと発生しやすくなります。

- ・赤かび病の防除体系

赤かび病防除は2回の薬剤防除が基本になります。1回目の防除は「開花始期～開花期」、2回目の防除を「1回目の7～10日後」に行いましょ。降雨が続く場合には追加防除を行いましょ。

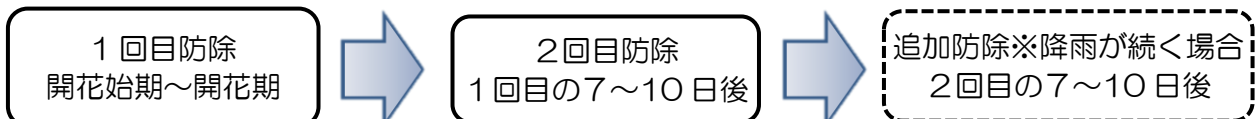


図4 赤かび病防除体系

### (3) 排水対策

麦は莖立ち期以降、湿害に弱くなります。ほ場に水を停滞させないためにも明きよと暗きよの確認を行い、排水対策を徹底しましょう。

- ・大雨の後には、ほ場を巡回して水が停滞していないか確認しましょう。
- ・明きよ…手直し、管理機等で溝を作り、排水口まで繋げましょう。
- ・暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。

#### 東北地方 1 か月予報

(4月13日から5月12日までの天候見通し)

平成31年4月11日

仙台管区气象台 発表※抜粋

##### <予想される向こう1か月の天候 ※東北太平洋側>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

##### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	40	30	30
【降水量】	東北太平洋側	40	30	30
【日照時間】	東北太平洋側	20	40	40

##### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北太平洋側	20	40	40
2週目	東北太平洋側	40	30	30
3~4週目	東北太平洋側	40	30	30

##### <予報の対象期間>

1 か月 4月13日(土)~5月12日(金)

#### ◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(4月1日~6月30日)◆◆◆◆◆

農作業中の事故は農業機械によるものが多く、また、機械の転倒や転落が大きな要因となっています。あぜ越えや路肩を走行する際は油断せずに、後方確認を行い足元にも注意しましょう。

重点推進テーマ 「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」

次号の「平成31年産大崎麦作情報」は、5月中旬頃の発行を予定しています。